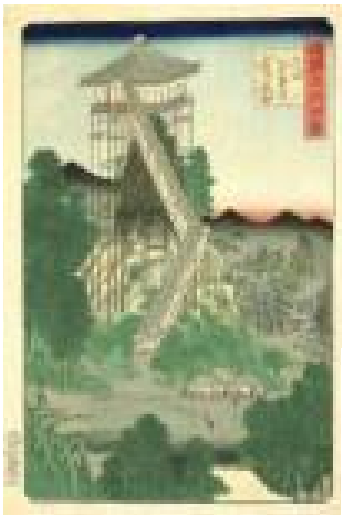
知識は旅をする

千葉県立東部図書館だより
２０２６年１１月
第８７号



歌川広重画『諸国名所百景
上総笠盛寺岩作り観音』
（「菜の花ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ」
千葉県ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰｶｲﾌﾞ）

<資料紹介コーナー> 宇野千代　百年人生

連続テレビ小説で注目の作家・宇野千代を特集します。大正・昭和・平成を駆けぬけ、作家・着物デザイナー・実業家など、多彩な顔を持つ女性が残した豊かな作品世界を紹介します。

東部図書館ではドラマ化された『色ざんげ』『生きて行く私』ほか、親交のあった作家たち（芥川龍之介など）の作品もあわせて展示します。

朝ドラの予習・復習に、ぜひご覧ください。

展示期間：１０　月１７日(土) ～　１２月１７日(木)

講座

<読書バリアフリー講座>

３D 模型に触れて、全体の形をイメージする
～３D プリンターを活用した情報提供の可能性～

活字による読書が困難な方やその支援者に向けて、様々な読書の形態や環境の整備について紹介する講座です。新たな情報源としての「3D 模型」の可能性についてお話しいただきます。

- 日時：12月4日(金) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分まで
- 会場：千葉県立東部図書館 3 階 研修室
- 定員：25 名　※当日 Zoom 配信（定員50名ほど）あり
  ※後日アーカイブ配信あり



千葉県立図書館
Web サイト
PC・スマホ

千葉県立図書館
Web サイト
携帯電話

千葉県立図書館
X（旧 Twitter）

報告

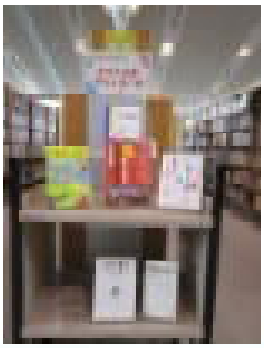
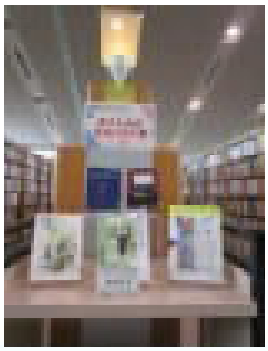
インターンシップ受け入れ

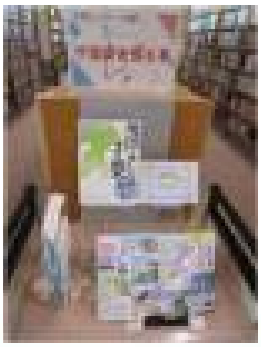
東部図書館では、夏休み期間中に学生インターンシップを受け入れています。

今年は成東高校の高校生2名と國學院大學と和洋女子大学から2名が図書館業務を体験しました。

カウンター業務や書架整理をはじめ、利用者からは見えない裏方の仕事、資料の運び入れ、傷んだ本の修理などに取り組みました。

写真は高校生・大学生が作成したミニ展示です。お疲れ様でした！



ミニ展示

「図書館から世界（ニュース）が見える」



「図書館から世界（ニュース）が見える」は、世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような、資料情報を紹介しています。

東部図書館では『ロケ誘致』をテーマに資料案内を作成しました。フィルムコミッションの取組やロケツーリズムの効果・課題、千葉県のロケ地などを紹介しています。

通称「としょせか」は調べ学習のアイデア満載です。ぜひご活用ください。

詳しくは千葉県立図書館のホームページもしくは東部図書館へご来館ください。

東部図書館からのお知らせ

利用者アンケートのご協力のお願い

令和８年 11 月 13 日～11 月 27 日に、利用者アンケートを実施しています。今後の図書館運営の参考にさせていただきますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

アンケートの集計結果は「知識は旅をする　第８８号」（２月発行）に掲載予定です。また、図書館エントランスの壁面にも、掲示予定です。

年末年始の休館日

12 月 28 日～1 月 4 日は休館日です。

休館中の本の返却は、東部図書館正面入口左側にあるブックポストをご利用ください。



食べものが登場する本

図書館ぶらり散歩（６７）　　※［］内は資料の請求記号です。





『浮世絵に見る江戸の食卓』

林　綾野　著　２０１４年　美術出版社
［７２１８/１６３］

寿司や天麩羅を屋台で頬張る人々、茄子や西瓜、初鰹や蛸など旬の食べ物を調理する風景、浮世絵には江戸っ子の食事やライフスタイルが生き生きと描かれています。

この本は、北斎・広重・国芳らが描いた浮世絵から「食」の情景をクローズアップし、ビジュアルで鑑賞しながら江戸の和食文化を読み解く１冊です。

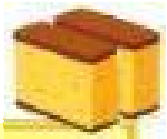
浮世絵に描かれた食べ物を当時の文献を手がかりにリアルに再現しているので、レシピを参考に料理を作り、江戸っ子の味を体感してみてはいかがでしょうか。

『イタリア料理のアイデンティティ』

マッシモ・モンタナーリ　著　２０１７年
河出書房新社　［３８３８３/２７］

イタリアの郷土料理は、実に多種多彩。それらは、何世紀にも渡る生産物や文化の交易の結果、レシピが各地に受け継がれ、食文化として根付いたものです。例えば、トマトソースはいまやイタリアの定番。イタリア料理のアイデンティティを形成する上で欠かせない存在ですが、トマトは元々アメリカからやってきた作物で、スペインでの使われ方を参考に、イタリアでソースという形で再構築されたものです。この本では、現在のイタリア料理に至るまでの様々なエピソードが紹介されています。





『されどめぐる季節のなかで』

はらだ　みずき　著　２０２５年　新潮社
［Ｃ９３６/ハミ２］

野菜や果物を旬の時期に食べるとよりおいしいと感じることはありませんか？

舞台は千葉県佐倉市、主人公の村上真芽（通称：まめ子）は祖母が住んでいた建物で「オープンガーデン＆カフェ　そらまめ」を開いています。

この作品には、季節の章ごとに料理上手なまめ子が作った、旬の食材が入った料理がたくさん出てきます。彼女は、カフェの未来のために自分なりの「おいしい」を探して畑に種をまき、野菜を育てています。

自分の中の「おいしい」を思い出すことができる１冊です。

『作家とおやつ』

平凡社編集部　編　２０２５年　平凡社
［９１４６８/８３］

日常に楽しみを与えてくれるおやつ。作家たちも家庭の味、懐かしい味、名店の味まで様々なおやつを食べ、文章に書き残してきました。中村汀女は「一つの菓子が待っていてくれる日はたのしい」という言葉でおやつの存在の大切さを書き表しています。

菓子屋宛てに自ら考案した菓子を送るよう注文した芥川龍之介、病床で書いた日記にその日に食べた菓子パンを記録した正岡子規はお菓子の絵まで描いており、おやつにかける情熱が伝わってきます。近代から現代までの作家のおやつをのぞいてみませんか。

香取市立小見川図書館

東部図書館では「展示で使用した資料をもっとたくさんの方に活用してもらいたい！」という考えから、過去に実施した展示の本や、司書が厳選した本を、県内の読書施設などへセットにして貸し出す「巡回展示」というサービスを行っています。

今回は、この巡回展示を積極的に活用していただいている、香取市立小見川図書館を訪ねました。現場を支える担当者の生の声をお届けします。

担当者に聞く！巡回展示の舞台裏

８月某日、巡回展示を担当しているＵさんにお話を伺いました。

―小見川図書館では、これまで「大人の学びなおし」、「ごはん（コメ）VS パン」など、様々なテーマで巡回展示を活用されていますが、テーマはどのように決めていますか

「季節や行事、地域性などを踏まえ、どんなテーマだったら面白いか、スタッフみんなで考えて決めています。また、利用者さんの反応もテーマを考える参考にしています。例えば、今開催している『BASEBALL』も、利用者さんの反応をもとに決めたんですよ。昨年度『高校野球』をテーマに展示を実施したところ、『面白い』、『楽しかった』といった声を、多くの利用者さんからいただきました。そのため、今年はさらに、範囲を野球全般に広げてみたんです。」

―最近の展示で、反響があったものは？

「５月３０日から７月８日まで開催した『千葉が生んだ作家たち』は、特に反響が大きかったですね。貸出率も高く、何度も借りられる本もありました。また、小見川は利根川を挟んで茨城県と隣接していることから、茨城県から足を運んでくださる方もいました。

また、『環境にやさしい野菜とレシピ』では、『家庭菜園に挑戦して、収穫した野菜でおいしい食事を作ってみたい！』とお話ししてくれる利用者さんもいらっしゃいました。香取市は農業が盛んな地域なので、地域の特性と利用者さんの関心をつなげられたと感じています。」

―巡回展示にあたってのこだわりを教えてください

「視覚的にも楽しめるように、本棚まわりの装飾には力を入れていますね。会計年度任用職員の皆さんを中心に作成していて、デザインや立体感、手触りなどにもこだわった、楽しい装飾になるように工夫しています。ファンの方もいるくらいなんですよ！ぜひ、当館にいらっしゃった際は、装飾にも目を向けてみてくださいね。」

巡回展示は、本を通して地域の人々の知的好奇心を刺激し、コミュニティを活性化させる温かいエネルギーを運んでいます。

小見川図書館に足を運んだ際は、ぜひこの特別な本棚を探してみてください。まだ見ぬ新しい世界との出会いが、あなたを待っているかもしれません。



▲『BASEBALL』の様子。夏らしく爽やかな装飾が本棚を飾ります。

編集長の独り言

若い人を中心に朝食を欠食する人が増えているそう。朝食は、寝ている間に使われたエネルギーや栄養を補充し、午前中の体温を維持してくれ一日のリズムを整えてくれます。読書の秋でついつい夜更かしをしがちですが、睡眠や朝食もしっかり摂って心身ともに健康を保ちましょう。

図書館だより「知識は旅をする」
2026年11月発行　第87号
編集・発行：千葉県立東部図書館
〒289-2521　千葉県旭市ハ３４９
TEL：0479-62-7070／FAX：0479-62-7466